

## 西条市合併20周年記念式典 市長式辞

本日は、西条市合併20周年記念式典に、このように多くの市民の皆さまにご列席いただき、この節目を共にお祝いできることを、大変嬉しく有難く思います。また、本日は、足元の悪い中、中村時広愛媛県知事を始め、ご来賓の皆さまにもご臨席を賜り、華を添えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、平成16年に、西条市、東予市、丹原町、小松町の2市2町が一つとなり、新しい西条市が誕生しました。それから20年の時を経て、本日この記念すべき日を迎えられましたのは、国、愛媛県、国会議員の先生方、県議会議員の皆さま、そして関係機関の皆さまの多大なるご支援、また市民の皆さまのご理解とご協力のおかげでございます。この場をお借りして、衷心より御礼を申し上げます。

本日は、西条市合併20周年記念表彰といたしまして、各分野において、長きにわたり市政に多大な貢献をいただきました皆様の、今日までのご功績を讃えますとともに、そのご労苦に対し、厚く御礼と感謝の意を表しまして、感謝状・表彰状をお贈りさせていただきます。皆さまの御尽力によって、西条市勢はますます発展し、その功績は次の時代に引き継がれていく重要な礎となっていくことでしょう。

この20年間、西条市は自然豊かな環境と伝統文化を基盤に、さまざまな分野での成長を遂げてまいりました。特に農業や製造業といった地場産業は、長い歴史に裏打ちされた技術で全国に誇れる成果を挙げています。

また、近年ではSDGsの理念に沿った、持続可能な開発を実現しつつ、環境・社会・経済の三つの側面から新たな価値を創出する特に優れた取り組みを提案する自治体として、「SDGs未来都市」に本市が選定され、持続可能なまちづくりの推進にも力を入れております。

さらに、本市は「住みたい田舎ランキング」で若者世代や単身者部門において高い評価をいただいております。これは、移住定住施策における住宅支援や、起業支援、子育て世代を支える環境整備など、多岐にわたる施策の成果であります。市外からの移住者にとっても、自然豊かな環境と都市部へのアクセスの良さが高く評価され、年々移住者の数も増加しております。人口減少が進行する中で、西条市は今後も、全ての世代が「住みたい」、「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを推進してまいります。

他にも、中村県知事を先頭に、愛媛県への誘致の様々な積極的な取

組が進んでいるところでございます。直近では、昨年本市で開催された「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）」に代表されるように、本市でサッカーと太極拳の交流大会が行われました。全国から集まった多くのシニアアスリートの活躍や応援だけでなく、おもてなしエリアやミニ観光ツアーなど、幅広い年代の地域の皆さまのご協力で、本市の魅力を市内外の方々に感じていただくことができる、素晴らしい大会となったことも、記憶に新しいことと思います。

その一方で、私たちは現在も多くの課題に直面しています。少子高齢化、医療や福祉体制の整備、老朽化した公共施設の再編、さらには頻発化、激甚化する自然災害への備えなど、解決すべき課題は山積しております。これらの課題に立ち向かうため、西条市は「SDGs×DX」などの革新的な取り組みを進め、持続可能な成長を目指しております。地域経済を活性化させる「LOVE SAIJOポイント」など、プラットフォームを活用いたしまして、公民連携、市民参加型の施策を通じて、皆さまと共に未来を築いてまいります。次代につなぐ、未来へつなぐ、持続可能都市西条2050の実現を目指します。

結びに、本日の式典が、市民の皆さまにとって西条市への愛着と誇

りを一層深める機会となることを願い、皆さまのご健勝とご多幸を  
お祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

令和6年11月2日

西条市長 玉井 敏久